

ぼうさいくんれんにさんかしよう

いざというときにおちついて行動^{こうどう}するためには、ひなんくんれんにしんけん^{たいせつ}にさんかすることが大切です。
 学校^{がっこう}のひなんくんれんだけではなく、地いき^ちのぼうさいくんれんにも、すすんでさんか^{さんか}しましょう。

1 いざというときのために

同じ^{おな}ことでも、くりかえしくんれんして、正しい^{ただ}ひなんの方^{ほう}ほうをおぼえるひつようがあります。



けむり^なの中^{なか}での歩き方^{ある}のくんれん^{かた}



しょう^か火^かきでしょう^か火^か体^{たい}けん



け^ての^あて^あを^{おし}て^てま^らう



とも^とだ^ちと^あて^あの^{れん}し^{ゅう}



ひなんくんれんやぼうさいくんれんで、まもらなければならぬ大切な^{たいせつ}ことは何^{なん}でしょう。

2 地いきの人といっしょに

さいがいがおきたときに力^{ちから}を^あ合^あわ^せて生活^{せい}する^{かつ}ためには、日^ひごろから地いき^ちの人^{ひと}びとと^かか^わる^こが^たい^せつ^つです。
 地いき^ちのぼうさいくんれんにも^{さん}参^か加^かし^てみ^まし^よう。

そして、すむ地いき^ちでさいがいがおきたときに^{かん}ど^がの^ように^ひなん^したら^よい^か考^えま^しよ^う。



ひなん^づじ^ょを^つく^るくんれん



よる^よの^くんれん



ちい^こさい^この^せじ^わを^する



みんなの地いき^ちでは、
 どんなくんれん^が
 あるかしらべて
 みよう。

くんれんにさんかしたかんそうを、
 はな^あ話^わし^あ合^あっ^てみ^まし^よう。

